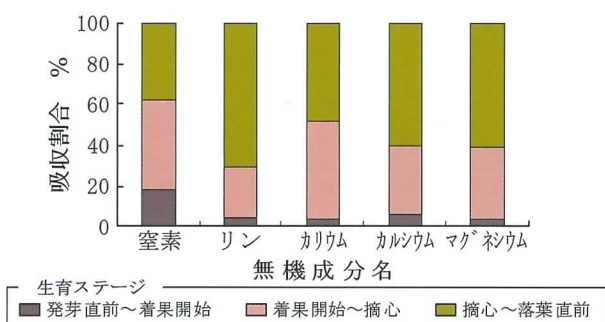


## イチジクの養分吸収特性

コンテナ栽培のイチジクについて、生育ステージごとに無機成分の含有量を測定しました。収量を3.3t/10aと仮定して養分吸収量(kg/10a)を測定値から推定したところ、N:10.8、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:5.6、K<sub>2</sub>O:15.9、CaO:19.8、MgO:7.7でした。また、Nは早い時期に、K<sub>2</sub>Oは中期に、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>は遅い時期に吸収が多くなることがわかりました。(園芸研究部)



生育ステージ別の無機成分の吸収割合

## パセリの新病害「パセリー菌核病」

2007年2月に愛知県内でパセリの地際部が腐敗する症状が発生しました。病原性や病原菌の形態等について調査した結果、菌核病であることがわかり、日本植物病理学会において発表しました。この菌は、キャベツやトマトなどの菌核病と同じ菌ですが、パセリでの発病が確認されたのは日本で初めてです。枯死した部分に形成される黒色の菌核(ねずみの糞状)は次作以降の伝染源になるので、被害株・被害残さとともに、ほ場から除去、処分することが大切です。(環境基盤研究部)



発病したパセリ (白い綿毛状の部分) 子のう盤の発生した菌核

## イタリアンライグラス多給による早期育成管理技術

自給粗飼料を大量に給与した場合の影響を確認するため、妊娠期の育成牛にイタリアンライグラスサイレージを慣行より多給する試験を行いました。その結果、早期の分娩及び乳生産に必要な発育が可能で、分娩後の乳生産にも問題がなく、泌乳期もたくさん飼料を食べられる胃袋の大きい立派な乳牛に育つことがわかりました。ただし、自給粗飼料は、成分の変動が大きいので、成分を把握して給餌することが重要です。(畜産研究部)

### 育成期間中の発育成績

	低配合区		高配合区			低配合区		高配合区	
	供試数	体重	供試数	体重		供試数	乳量	飼料摂取量	飼料摂取量
供試数	13頭		12頭		12頭		10頭		
体重	396日齢	383kg	402日齢	383kg	乳量	29.1kg/日	26.9kg/日		
	615日齢	593kg	622日齢	615kg		飼料摂取量	19.8kg/日	18.6kg/日	
増体量	0.94 kg/日		1.02 kg/日						

注. 低配合区: イタリアンライグラス割合を増やし配合飼料を減らす。

### 泌乳成績及び飼料摂取量

## 知的財産権の出願・登録状況

農業総合試験場が研究の成果として保有する知的財産(特許及び品種)の出願・登録状況です(2009年12月現在)。(企画普及部)

### 特許

登録 8件

- ・イネ縞葉枯病抵抗性を間接的に識別できる分子マーカー
- ・少量高頻度灌水法を特徴とする施設園芸用自動灌水制御装置 など

出願中 8件

- ・袋培地栽培法及び袋培地
- ・局所温度調節装置及びそれをを用いた育成方法 など

### 品種

登録 25品種

- 稲 6品種
- 牧草 1品種
- 野菜 7品種
- 果樹 2品種
- 花き 9品種

出願中 11品種

- ・中部125号(水稲)
- ・試交05-3(ナス)
- ・カーネ愛知4号
- ・カーネ愛知5号 など

### 編集・発行

### 愛知県農業総合試験場

〒480-1193愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1  
TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)  
FAX 0561-63-0815  
http://www.pref.aichi.jp/nososi/